

한통련 뉴스레터

제96호

発行:在日韓国民民主統一連合 (韓統連)

〒110-0016 東京都台東区台東4丁目31-7-302 電話/FAX 03-4362-5284
メール chuo@korea-htr.org ホームページ <https://chuo.korea-htr.org/>

ニュースレター配信をご希望の方はchuo@korea-htr.orgまでご連絡ください。(メールにお名前をご記入の上、件名に「韓統連ニュースレター配信希望」とお書きください)

정세 情勢

●内乱首謀者の尹錫悦を弾劾・逮捕しろ！ 共犯「国民の力」を解体しろ！



「国民向け談話」で謝罪する尹錫悦大統領

尹大統領「国民向け談話」発表、与党も弾劾賛成

尹錫悦(ユン・ソンニョル)大統領は12月7日午前10時、国民に向けて談話を発表した。3日夜の非常戒厳令宣布に関して謝罪し、「わたしの任期を含め、今後の政局安定策はわが党(与党「国民の力」)に一任する」と表明。辞任については言及しなかった。

尹大統領の国民向け談話発表後に、国民の力の韓東勲(ハン・ドンフン)代表は国会で報道陣に対し、「大統領の正常な職務遂行は不可能で、早期退陣は不可避だ」と述べた。与党は5日に弾劾訴追案反对方針を決めたが、6日に賛成に転じた。非常戒厳令宣布と同時に尹大統領が主な政治家を「逮捕、収監しようとしていた」との情報把握したためだと説明した。

第1野党「共に民主党」の李在明(イ・ジェミョン)代表は記者会見を開き、「国民の目の高さにもっと合っておらず、国民の裏切られたという思いと怒りを増大させる発言」だと非難。「大統領の即時退陣

もしくは弾劾による早期退陣以外に事態を解決する道はない」と主張した。他の野党も「唯一の收拾方案は弾劾」と強調した。

与党議員退場で弾劾廃案に、国会前100万人が糾弾

国会は7日午後5時、本会議を開き、6野党が提出した尹大統領弾劾訴追案の採決を行った。在籍議員(300人)のうち195人が採決に参加。定足数不足で採決が成立せず、弾劾案は自動的に廃案となった。

弾劾案は在籍議員の3分の2である200人以上が賛成すれば可決される。採決には野党・無所属議員192人のほか、与党「国民の力」から安哲秀(アン・チョルス)議員、金睿智(キム・イェジ)議員、金相旭(キム・サンウク)議員の3人が参加した。

国民の力は本会議前、弾劾案を否決させるとの方針を決めた。

弾劾案では「戒厳に必要ないかなる要件も満たしていないにもかかわらず、憲法と



弾劾採決前に議場から退席する「国民の力」の議員

法律に違反し非常戒厳を発令」したことや、「国民主権主義と権力分立の原則、政党活動の自由、表現の自由に対する侵害」などを弾劾訴追の理由にあげた。

この日は全国各地で尹大統領の弾劾・退陣を求める集会が開催された。国会前では100万人の参加者が本会議の推移を見守り、弾劾案の廃案が決まると糾弾の声を国会に向けて一斉にあげた。

韓統連は東京、大阪、神戸で集中宣伝活動を展開し弾劾・退陣を訴えた。（「報告記事」参照）

共に民主党、弾劾を再推進

共に民主党の李代表は本会議後、「内乱行為の責任を問い必ず弾劾する」と主張。同党は11日に改めて弾劾訴追案を提出する方針を示した。（14日の本会議で採決。否決されれば以後、毎週提出）

国民の力は本会議後、「国政のまひと憲政中断の悲劇を繰り返すことはできなかった」とする所属議員一同を名義にした声明を出した。

与党・首相で政権運営、国会議長「違憲」と批判

国民の力の韓代表は8日、記者会見を開き、尹大統領が今後、「外交を含む国政に関与しない」とする談話を発表した。韓代表は、韓憲洙（ハン・ドクス）首相と定期的に意見交換し、「国政に空白が生じないようにする」と強調。与党と首相が共に今後の政権運営を担う考えを示した。

韓代表と共に会見に臨んだ韓首相は「韓米同盟を堅固に維持し、韓米日の安保協力を強く維持していくことが重要課題だ」と語った。

これに対し、禹元植（ウ・ウォンシク）国会議長は会見で「大統領の権限を首相と与党が共同で行使しようというのは明白な違憲だ」と指摘。「国民主権と憲法を無視した極めて傲慢な行為だ」と批判した。その上で、大統領の職務を即刻停止させ、混乱收拾に向け与野党が協議するよう訴えた。

共に民主党は「大統領の職務停止のみが

憲法に定められている手続きであり、そのほかの主張は違憲であり内乱を持続させる行為だ」と主張した。

検察、尹大統領「内乱首謀者」、金前国防長官逮捕

ソウル中央地裁は10日、検察の請求を受けて金龍顕（キム・ヨンヒョン）前国防長官の逮捕状を発付した。検察は金氏が内乱の首謀者ではない重要任務の従事者だったと位置付け、「尹氏と共謀して内乱を起こした疑いがある」と逮捕状に明記した。

刑法は憲法秩序を乱す目的で暴動を起こした場合に内乱罪を適用すると規定。首謀者と重要任務従事者、同調者の3段階に分けて処罰し、首謀者には死刑または無期懲役、無期禁錮を科すと定める。検察は金氏が尹大統領と共に、戒厳司令官を担った朴安洙（パク・アンス）陸軍参謀総長、呂寅兄（ヨ・ヨニョン）前軍防諜司令官らと共に謀したとみる。

金氏らの指示で戒厳軍は国会に進入し、非常戒厳を解除する決議が成立するのを防ごうとしたとされる。検察は憲法で規定された国会の権限行使を不可能にし、憲法秩序を乱したと判断している。

10日の国会審議では尹大統領が直接作戦の状況を確認していたとの証言が出た。国会への軍投入を指揮した郭種根（カク・ジョンゲン）陸軍特殊戦司令官は「部隊がへりで向かっている状況で大統領から電話があり、どこに向かっているか聞かれた。国会に移動中と答えた」と説明した。

憲法は、内乱罪について、大統領が在職中に訴追を免れる「不訴追特権」の例外と規定する。

法務部は9日、尹大統領の出国禁止処分を決めた。

一方、国会は10日、独立した特別検察官に非常戒厳を巡る内乱事件を捜査させる法案を可決した。野党提出の法案だが、与党「国民の力」から23人が賛成した。

「尹錫悦退陣行動」発足、国会前で毎日キャンドル

12月11日、市民社会団体の全国的連



「尹錫悦退陣行動」発足記者会見

帯組織である「尹錫悦即刻退陣・社会大改革 非常行動（尹錫悦退陣行動）」の発足が記者会見を通じ発表された。尹錫悦退陣運動本部と拒否権拒否行動が9日に提案し、1549団体が参与した。

尹錫悦退陣行動は△尹錫悦内乱罪捜査および処罰要求活動△内乱共犯および内乱同調の「国民の力」解体要求活動△国民主権および社会大改革のための活動△尹錫悦退陣全国ネットワーク、国際連帯事業などを展開するとした。

11日から毎日、尹錫悦即刻退陣、弾劾のための集会と行進を主催し、弾劾訴追案再採決の14日には国会前で200万のキャンドルを予告。尹錫悦退陣まで毎週土曜日、大規模な尹錫悦即刻退陣集会を全国主要都市で同時開催する予定。

内乱首謀者・尹錫悦を弾劾・逮捕しろ

与党は結局、尹大統領に対する弾劾訴追案を廃案へと追い込んだ。国権をびん乱した尹大統領をその座から引き下ろし憲法の権威を再び取り戻す道が弾劾である。国民を無視し国民の願いを踏みにじる国民の力は、内乱の共犯であり、いまや存在する理由も価値もない反国民政党であることを自ら証明した。同党は一刻も早く解体されなければならない。

また、同党の韓代表は尹大統領の「秩序ある退陣」を掲げて、以後は韓首相と国政運営をするという。完全な危機に陥った大統領を救うポーズを示しながら、すきに乗じて自らの権力を強化し、次期政権獲得への準備と布石を進め、国民は眼中にない。

しかし、こうした韓代表の政治言動には何ら法的根拠も政治的正当性もない。禹議長が指摘したように、これは「国民主権と憲法を無視する傲慢な行為」でしかない。

戒厳令宣布後、尹大統領が戒厳軍に対し「国会に進入し議員らを引きずり出せ」との指示を直接下したことが、郭司令官の国会証言で判明した。証言どおりならば、尹大統領は国会状況を把握しながら、非常戒厳令解除決議案を物理力で防げと戒厳軍に直接指示したことになる。これは今回の事態が「内乱」すなわち「国権びん乱が目的の暴動」に該当し、首謀者は尹大統領であることを明らかにしている。また、戒厳軍が政治家らの拘束を準備していたとの証言も出ている。内乱の総指揮者が尹大統領であることがますます明確になっている。犯罪の重大性からしても緊急逮捕の対象だ。尹大統領を即刻逮捕しなければならない。

尹錫悦退陣行動が結成された。民意に沿って行動する野党と共に尹大統領を弾劾し退陣へと追い込む力強い汎国民戦線がつくられた。

国民主権を否定する大統領、政権、政党、政治家は存在できない。内乱首謀者の尹錫悦を弾劾・逮捕しろ！ 共犯「国民の力」を解体しろ！



国会前で尹錫悦弾劾を要求する市民

활동보고 活動報告

●韓統連・韓青が各地で抗議活動…尹錫悦の戒厳令宣布を糾弾、退陣要求

韓統連・韓青は尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領の戒厳令宣布に抗議し、各地で抗議活動を展開。尹錫悦退陣を要求し大きな反響を呼んだ。

▲東京



プラカードを掲げて尹錫悦退陣を訴える参加者

韓統連と韓青中央本部は12月6日、都内のコリアタウンである新大久保で街頭宣伝を展開。ニューカマー同胞や日本人も駆けつけ、総勢30人ほどで宣伝活動を開催した。

韓青中央本部の韓成祐（ハン・ソンウ）委員長は「先日、尹錫悦は突然非常戒厳令を宣布し、国内を大混乱に陥れた。団結した市民の力によって6時間で解除させることができたが、一步間違えれば民主主義社会が崩壊するところだった。決して許すことはできない」とし、「前代未聞の暴挙を起こした尹錫悦は必ず退陣させなければならぬ」と強調した。

韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長は戒厳令宣布から解除までの経緯を説明した上で「尹錫悦が戒厳令を宣布したのは、民衆による退陣運動の高まりに迫いつめられてのことだ。戒厳令は市民と国会の力によって解除された。韓国はもはや過去の軍事独裁政権のような戒厳令を許すような国ではない」とし、「現在、韓国全土から尹錫悦に対する怒りの声が沸き起こってい

る。日本からも力強く、退陣を要求する声をあげていこう」と語った。会員の申久江（シン・クガン）氏は韓国市民の闘いを民主化運動の成果として評価するとともに、早期の尹錫悦弾劾を訴えた。

ニューカマー同胞がアピール。「非常戒厳令が出された日は眠ることができなかった。とても恐ろしく、恥ずかしいことだ。しかし、同時に民主主義を守った市民たちの闘いが誇らしかった。これからも韓国の民主主義の回復のために声をあげていきたい」と語った。日本市民からは日本の政権と尹政権との癒着関係を糾弾し、韓国市民と連帯してくことが訴えられた。

「ニム（あなた）のための行進曲」を参加者全員で合唱後、「尹錫悦は退陣せよ」と書かれたプラカードを掲げ、早期退陣を訴えた。

▲大阪



鶴橋駅前に結集し抗議する参加者

韓統連大阪本部と韓青大阪本部は12月7日、「尹錫悦大統領は退陣しろ！ 鶴橋連帯アクション」をJR鶴橋駅前で開催し、尹大統領の非常戒厳令宣布に抗議した。

同アクションには主催者の他に、SNSなどを通じて韓国からの留学生をはじめ在日同胞、日本人多数が参加し、「内乱の主犯 尹錫悦は退陣しろ！」と書かれたプラ

カードとペンライトを持ちながら、「尹錫悦を弾劾しろ！」「尹錫悦は退陣しろ！」など怒りの声をあげた。

リレートークでは参加者から△尹錫悦の暴挙を許すことはできない。△韓国では過去に平和を守るために市民が血を流して闘った歴史がある。尹錫悦はその歴史を無視した。尹錫悦を退陣させ歴史を守ろう。△犯罪者尹錫悦を引きずり下ろすために闘っている韓国民衆と連帯しようなど、尹錫悦大統領を糾弾し、韓国の民主主義を守るための決意が語られた。

▲兵庫

韓統連兵庫本部と韓青兵庫県本部は12月8日、尹錫悦大統領の非常戒厳令宣布を許さず、一刻も早い退陣を要求する宣伝活動を神戸・三宮駅前で開催した。

参加者はビラやプラカードを通じて、民主主義を破壊した尹錫悦大統領の弾劾・逮捕を要求する声をあげるとともに、戒厳軍の国会への突入を防いだ韓国民の勇気をたたえた。

最後に全員でシュプレヒコールをあげ、尹大統領を退陣させるまで闘いを貫徹することを改めて決意した。



宣伝活動を展開する参加者

「鶴橋連帯アクション」は毎日新聞で紹介されました

<https://news.yahoo.co.jp/articles/ace3dc8ef91978545c16a9d94ea746517ffb5b>

●韓青三重県本部がボーリング大会を開催・・・楽しく交流



ボーリングを楽しむ参加者

韓青三重県本部は11月23日、三重県鈴鹿市内のボウリング場で「三重同胞ボウリング大会」を開催し、韓青三重の盟員や韓青三重OB・OG、韓統連三重本部のメンバーが集まった。

三重本部の金相祚（キム・サンジョ）代表委員が開会あいさつ。「三重同胞が年齢の垣根を越えて交流する機会を韓青三重が

用意してくれた。交流会も含めてたくさん語り合い、尹錫悦（ユン・ソンニョル）退陣に向けて決意を高め合おう」と語った。

ボーリングは個人・団体戦と進行し、交流しながら楽しんだ。交流会では青年たちから活発な発言が続き、全体で決意を共有した。



近隣で交流会

●「韓国良心囚を支援する会全国会議」が秋季集会を開催・・・北川広和氏が講演



講演する北川広和編集人

「韓国良心囚を支援する会全国会議（全国会議）」は11月28日、都内で「2024年全国会議秋季集会」を開催した。

全国会議の渡辺一夫代表が主催者あいさつ。今年1月に逝去した石井寛事務局長を追悼しながら、今後も精力的に活動していくことを訴えた。

「日韓分析」の北川広和編集人が「朝鮮半島情勢と尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権」と題し講演。朝鮮の対南政策転換の背

景として△尹錫悦保守政権の登場△米韓日の軍事一体化△米韓日首脳による安保協力「制度化」を指摘。尹政権については「経済危機に対して無策であり、韓国社会は現在世界でも類を見ないほどの格差社会となっている。また、尹政権が抱える様々な不祥事も民衆の怒りを買って、現在進歩運動、市民運動、野党が団結し退陣運動を展開している。私たちも韓国の労働者、民衆と連帯し闘っていかなければならない」と強調した。

元良心囚の鄭勝淵（チョン・スンヨン）氏、尾澤孝司氏から連帯あいさつ。尾澤氏は韓国オプティカル・ハイテック労組支援運動と、自身の裁判闘争の経過を報告し、支援を訴えた。

全国会議から活動報告。今年に入り2人の元良心囚に無罪判決が出され、一件は検察が大法院に上告したが、もう一件は確定。尾澤氏が11月13日に韓国民主労総から「全泰壹労働賞特別賞」を夫人・邦子氏と共に受賞したことを報告した。

●韓統連広島本部が「韓統連広島セミナー2024」を開催・・・金昌五副委員長が講演



あいさつする朴隆宏副代表委員

韓統連広島本部は11月30日、広島市内で「韓統連広島セミナー2024」を開催した。

尹康彦（ユン・ガンオン）代表委員が開会あいさつ。「今わたしたちは戦争の時代に生きている。朝鮮半島で戦争の危機が高まっている。尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権は政権退陣闘争を公安弾圧で抑え込む

対応をしている。この状況を変えなければならない」と語った。

韓統連の金昌五（キム・チャンオ）副委員長が「民主・進歩陣営の団結した力で、自主的民主政府を樹立し、連邦制統一を実現しよう！」と題し講演。「韓米日の軍事同盟化・韓米日合同軍事演習が拡大強化されている。今、地球上で核戦争勃発の可能性が最も高いのが朝鮮半島。広島・長崎に続いて3番目の被爆都市になる可能性が最も高いのがピョンヤンだ」と指摘。「尹大統領は政権に審判を下した4月総選挙の結果を受け入れず、拒否権を乱発している。韓国民衆の尹大統領退陣を求める声は高まっている」と強調。「米国の圧力に屈しない自主的民主政府の下で、南北合意を着実に実践し、ゆるやかな連邦制統一時代の

幕を開いていこう」と語った。

朴隆宏（パク・ユンゲン）副代表委員が

閉会あいさつ。来年の解放・被爆80年行事への協力を参加者に訴えた。

●韓統連愛知本部が愛知セミナー開催・・・康宗憲代表が講演



あいさつする趙基峰代表委員

韓統連愛知本部は12月8日、名古屋市内で第19回韓統連愛知セミナー「韓国の民主・統一勢力が目指す未来」を開催した。

趙基峰（チョ・キボン）代表委員が主催者あいさつ。尹錫悦（ユン・ソンニョル）大統領について「尹大統領こそが反国家勢力の首謀者である」と批判。「各界各層の

国民が国会に集まりこれを阻止した。この国民の闘いこそが民主主義である。尹大統領を許さない闘いをこの日本の地でも繰り広げていこう」と語った。

韓国問題研究所の康宗憲（カン・ジョンホン）代表が講演。今回の戒厳令を「反体制派を制圧する親衛クーデターであり、稚拙でずさんなクーデターだ」と指摘。韓国の国家的特徴として①日本の植民地からの解放の過程で、親日派が実権を握った②南北分断状況下で、親米反共勢力が台頭し民主主義が圧殺されてきた③その過程で反独裁民主化運動、統一運動が進展してきたとした上で、今後の課題として「民主政権・自主政権の樹立」を提示。「尹大統領の弾劾や退陣によって新たな政権ができるが、近代国家の基本権は国民主権と民族主権だ。これらを確認することが朝鮮半島の平和と統一の前提となる」と語った。

●月例活動報告

JAL争議合唱団、韓・日ジョイントコンサートに参加

韓国・光州の「青い松合唱団」と東京の「いろそら！ 合唱団」とのジョイントコンサートが11月15日、都内江東区で開かれた。主催は同実行委員会、光州文化財団が後援した。JAL争議団の合唱団「フェニックス」も参加し「勝利の朝を信じて」を披露。両合唱団と共に歌声を会場に響かせた。平和と民主主義を目指す韓・日の両合唱団は1998年から音楽交流を深めてきた。コンサートでは「並んで歩かなくても」「松よ青い松よ」「光州よ無等山よ」「共に行こう我らこの道を」などが取り上げられ、観客は盛大な拍手を送っ

た。11月の各地の定例行動は26日、品川駅前での初の統一行動として展開された。

韓国オプティカルハイテック労組支援 月例行動



アピールするイ・フン活動家

「韓国オプティカルハイテック労組を支援する会」は11月25日、月例行動を実施。品川駅港南口での宣伝行動では、訪日

中のイ・フン活動家が「日東電工は雇用継承で争議を解決すべき」と訴えた。韓統連の宋世一（ソン・セイル）委員長は、韓国で尹錫悦（ユン・ソンニョル）政権退陣運動が高揚していると紹介した上で、「韓国政府は争議解決を日本政府に要求すべきであり、日本政府は解決に乗り出すのが当

然」と主張した。日東電工本社への抗議・申し入れに対しては、会社側は完全拒絶の姿勢を繰り返した。支援する会は訪日抗議団と共に13～29日、「11月連続集中行動」（品川での宣伝・申し入れ行動＋13日・コミュニティユニオン1日行動＋27日・記者会見など）を展開した。

■韓統連ホームページ、日々更新しています

韓統連ホームページでは、朝鮮半島情勢や私たちの活動予定・報告などを日々アップしています。また、講演や集会の動画を韓統連YouTubeチャンネルで配信しています。あわせてぜひご覧ください。



韓統連ホームページ

韓統連ホームページ

<https://chuo.korea-htr.org/>

韓統連YouTubeチャンネル

https://www.youtube.com/channel/UCg_8NZg52O1VTAMIgrXfqjQ

행사예정 行事予定

12月

韓国尹錫悦(ユン・ソンニョル)政権はすぐに退陣しろ！ 韓日民衆連帯アクションat大阪駅前

日時: 12月14日(土) 午後5時開始 場所: JR大阪駅前南側 内容: 街頭アピール(尹大統領の戒厳令宣布糾弾、退陣要求) 主催: 大阪本部 連絡先: 090-3822-5723(崔)

情勢講演会(神奈川)

日時: 12月14日(土) 午後5時30分開始 場所: ミューザ川崎 会議室1 内容: 情勢講演(講師: 金昌五(キム・チャンオ) 副委員長) 主催: 神奈川本部 連絡先: 090-1049-4261(文)

第3回韓統連セミナー2024(大阪)

日時: 12月15日(日) 午後1時30分開場、2時開会 場所: いくのパーク 内容: 「激動する朝鮮半島情勢のゆくえ～民衆勝利、平和・統一にむけた課題」(講師: 金昌五(キム・チャンオ) 副委員長) 参加費: 800円(青年学生500円) 主催: 大阪本部 連絡先: 090-3822-5723(崔)

編集後記

尹錫悦大統領弾劾決議に反対し、与党「国民の力」が議場を退席し棄権。国民の力は戒厳クーデターの共犯者であることが明らかになりました。韓国の民主主義を破壊した尹錫悦大統領、国民の力を民衆の力で必ず追放しましょう(李)